

密着ルポ！

(株)WiShip 主催

心を揺さぶる面談力研修



WiShipメンバー。左から武田氏、岡田氏、弓指氏

9月18日(日)～19日(月)、滋賀県高島市。塾人たる使命感が劇的に変わるとして、強烈な支持を集める合宿セミナー「心を揺さぶる面談力研修」が挙行された。主催した(株)WiShip(ウイシップ)は、「希望の船」を意味し、個別指導塾を専門にサポートするブランディング企業。「心から生徒を大事にする塾を『仲間』として増やす」という理念を掲げ、今日も続く感動の航海。

今回、新たな仲間をつくるべく開催された同研修に、本誌も2日間にわたり密着。その熱いドラマの一部始終を見届けてきた。

厳しいチェックに張り詰める空気

その日、琵琶湖畔に佇むセミナー施設・アクティブラザ琵琶。一三名の「仲間候補」たちが全国から集まった。彼らは、現役塾経営者・教室長など、経験も技術も兼ね備えた実力者ばかり。しかしこの時点で、二四時間後の自分を包む感動を予想できた者は、ほとんどいなかった。

いくつかの座学を経たのち、いよいよ迎えた「入会面談ロプレテスト」。ここからが本番だ。

このロプレは、WiShipの弓指氏・武田氏扮する親子を面談し、いかに彼らの信頼を得て、入塾に導けるかというもの。しかも親子のフアクターは、家庭

環境や隠された本音などが緻密に設定されており、面談を通じて各自がそれを見抜かねばならない。代表・岡田氏のチェックのもと順番に挑戦し、全員合格するまで続くというハードな内容だ。

トップバッターはA氏。親子を迎え入れる場面からスタートだ。「すみません、面談を予約していた者です」「こんにちは！こちらへどうぞ」。いい滑り出しだ：そう思った瞬間、岡田氏がひと声。「はい、アウトです」。

この間、ものの数十秒。呆気にとられるA氏、他の参加者からもどよめきが起こる。「なぜアウトか分かりますか？今、あなたは母親だけに挨拶をしましたね。なぜ生徒を無視するのですか。いきなり無視された生徒の気持ち

が想像できますか？」と、岡田氏。そう、A氏は「お客様」としての母親にだけ意識が向いてしまっていたのだ。「なるほど、確かに。これは手強いぞ」。参加者たちも息を飲み、気合いを入れ直す。続いて二人目、三人目とチャレンジするが、五分と持たない参加者が続出。一人も合格できないまま、一回戦が終わった。

苦しみながらも、辿り着いた真実

続いて始まった二回戦。皆目の色を変えて挑むが、なかなか合格者は出ない。押し問答を続ける者、理論武装で挑む者。あの手この手で入塾に導こうとするが、ことごとく不合格。理由は「生徒の夢を否定した」「質問をほぐらなかし、ごまかそうとした」など、様々だ。

ところで、ここまで細かい指摘ができるのも、弓指氏・武田氏演じる親子に、圧倒的リアリティがあるからだ。例えば、漫画家になりたい娘と、それを否定す



弓指・武田両氏扮する親子に大苦戦

る親。結果主義の母と、抑圧された息子。鬼気迫るその姿に、次第に参加者も感じ始める。これは「面談ごっこ」などではない。本当の面談だ。いや、闘いだ、と。

終了予定時刻を超え、日付が変わっても次の合格者は出ず、参加者の顔に、苛立ちと疲労の色が見え始める。頭を抱えて俯く者、机を叩いて悔しがる者。もがきながら「答え」を求めるその姿は、悲壮感さえ漂わせていた。

しかし、なぜこも苦戦するのか。実は、全員がある「勘違い」をしていた。ここで詳細を明かすことはできないが、経験豊かであるが故の勘違いだった。見かねた岡田氏が、ついに「喝」「正解を求めからダメなんです！なぜあなたは塾をやるのですか？本気のあなたを見せてください！」

これはある意味、核心をついたヒントだった。(…頼む、気づいてくれ！)怒気をはらんだ言葉の裏に、祈りにも似た想いを込める岡田氏。雷に打たれたように静まりかえる参加者たち。しかしその一撃は、経験という鎧を静かに砕く。：彼らは「気づいた」。

作戦検討の時間が与えられ、各自頭をひねる。いや、それは「作戦」などではな

い。内なる声に耳を傾け、真摯に自分を問う崇高な時間だ。自分は誰に何を届けたいのか。初めて塾人になったあの日、何を誓ったのか。そして午前1時半、満身創痍の中、最後の挑戦が、静かにスタートする。

ある者は、「結果の出ない努力は無意味」と主張する母親を、涙ながらに諭した。ある者は、不遜な不良娘を叱りつけた。「お金がない」という親子に、そんなものはいらない！とぶち上げる者もいた。模範解答などない、魂から絞り出した言葉の数々。ただ塾人として、剥き出しの自分がいた。「もう迷いはない」とばかりに、次々と合格していく参加者たち。そして最後の一人が合格した時、すでに夜は明けていた。

実際に、朝7時前。一六時間にも及ぶ、熱く長い闘いが終わった。

新たな仲間と共に、次なる船出へ

仮眠後、再集合した彼らは、驚くほど晴れやかな表情

を湛えている。そこで行われた各自の決意発表は、耳触りのいい優等生発言などではなかった。だが、それでいい。武骨で、しかし何よりも心に響く。その言葉こそ、彼らが掴んだ「面談力」そのものだった。

ここに闘いを終えて、WiShipの新しい「仲間」一三名が誕生した。再会と互いの健闘を誓い合っており、笑顔で自らの戦場へと帰って行く彼ら。そんな仲間たちを見送りつつ、「希望の船」もまた、次なる海へと漕ぎ出して行った。



闘いを終えて。皆最高の笑顔だ